

経営比較分析表（令和5年度決算）

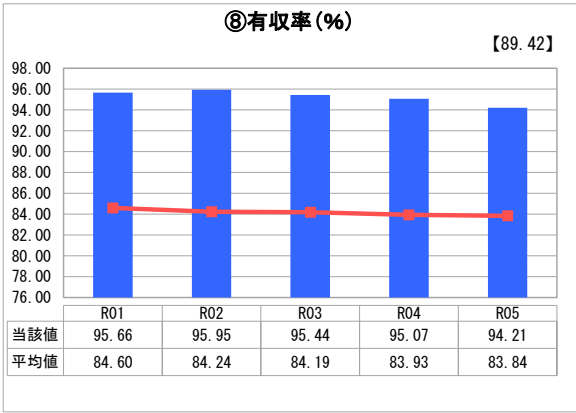
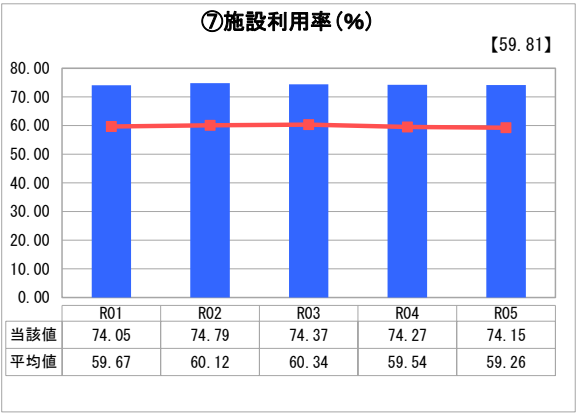
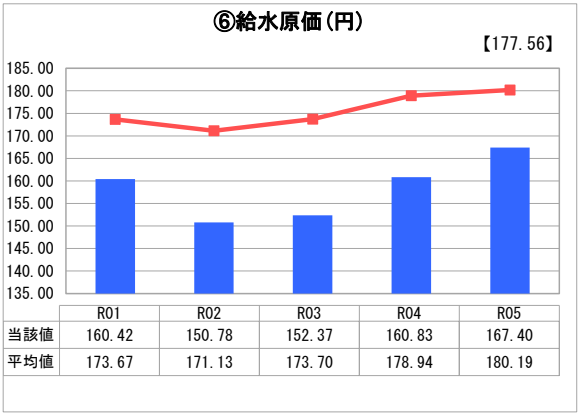
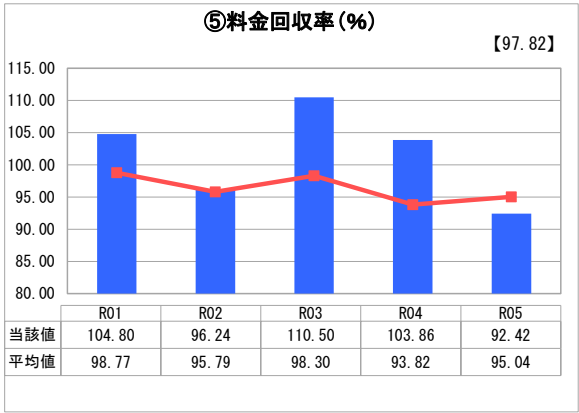
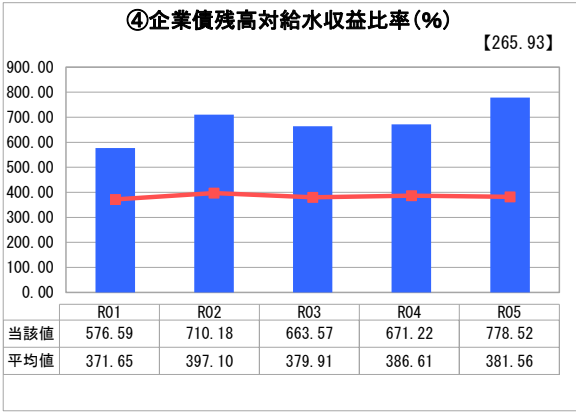
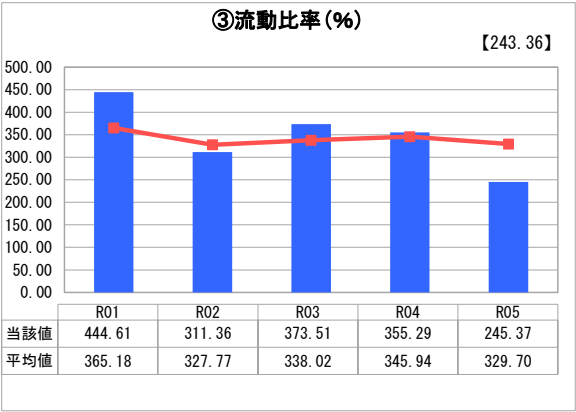
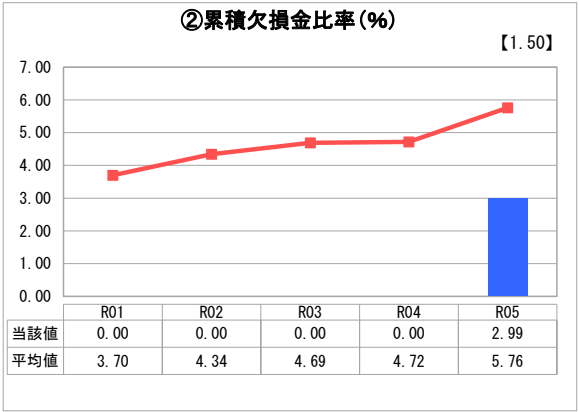
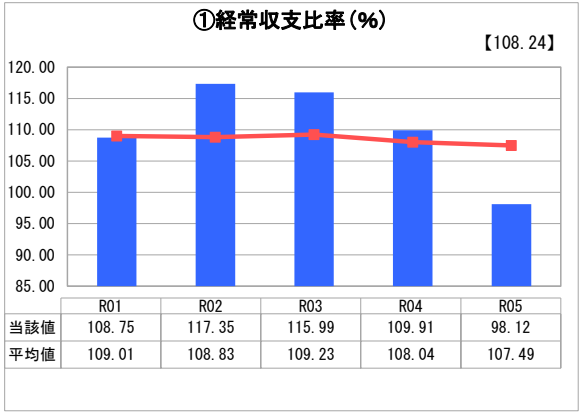
石川県 かほく市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	48.24	99.28	3,190	

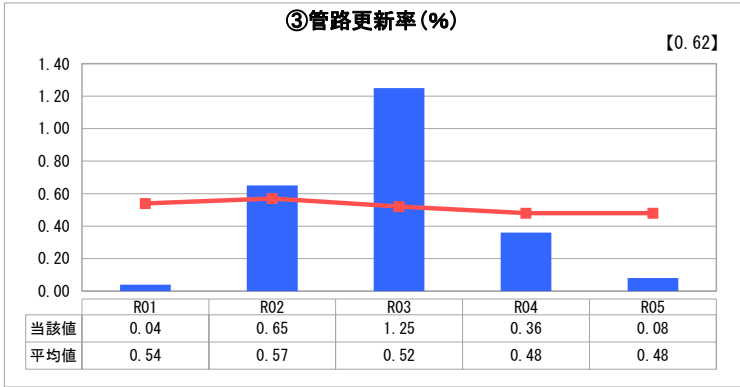
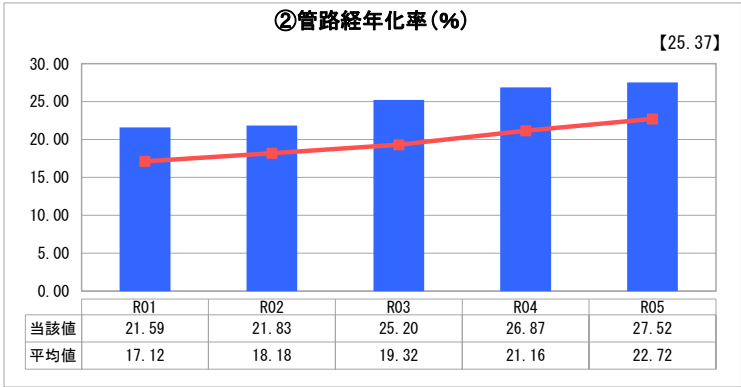
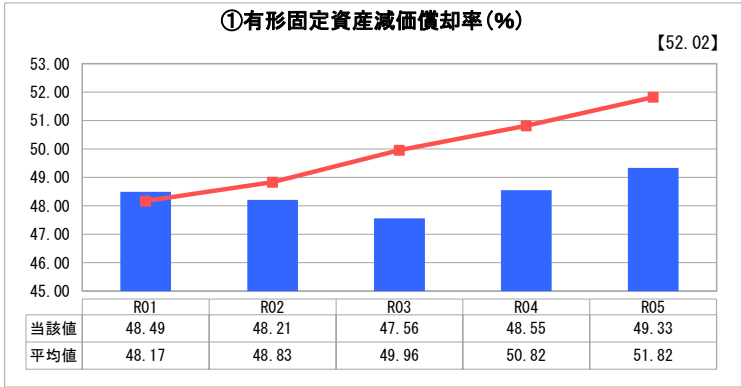
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
36,024	64.44	559.03
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
35,749	42.99	831.57

■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率については100%を下回り、経常損失を計上、累積欠損金の発生となった。また料金回収率も100%を下回っており、令和6年能登半島地震発生時の料金減免や災害応急工事の実施、物価高及び電気料金・燃料費等高騰が主な原因である。今後も災害復旧をはじめとした施設修繕等費用の増大による財政状況悪化が予想されることから、料金水準の適正化が課題である。

流動比率についても100%を超え、短期的な債務支払にも対応できる状況であるが、災害に伴う応急工事等の未払金が多く、例年に比べ比率は減少した。

企業債残高対給水収益比率は類似団体平均値を超えており、配水場施設等の更新に伴う企業債借入が要因である。今後は施設整備計画に基づき、実情に合った施設への改修を進めていく。また災害復旧工事についても順次実施していく。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率について類似団体平均値を下回っているが、管路経年化率が上昇しており、管路の老朽化が進んでいる状況である。今後は補助金等を活用し、地域防災計画で避難所に指定されている管路を優先的に更新を行う予定である。また、アセットマネジメントに基づき、計画的に施設の更新や廃止及び耐震化を順次進めていく。

全体総括

令和6年能登半島地震の影響や物価高及び電気料金・燃料費等高騰により、令和5年度決算では経常損失を計上し、累積欠損金の発生となった。料金回収率についても100%を下回り、経営状況について急激に悪化した。

今後も災害復旧をはじめとした施設及び管路等の修繕及び更新費用の増加が見込まれ厳しい経営状況となることが予想されることから、補助金等の財源確保に努めるほか、適正な料金水準についての検討を行う必要がある。現在、包括的民間委託により住民サービス向上及び経費削減に努めているが、今後はより一層の経営改善を図っていきたい。

また災害復旧工事についても、令和10年度完了を目標とし迅速に進めていく。